

小樽ロータリー

クラブ会報

40 No.3777
創立1933.12.12

例会場: グランドパーク小樽
例会日: 毎週火曜日12時30分
事務所: 小樽市築港11番3号
http://ri2510.org/otaru/
発行日: 2011年5月10日



2010～2011年度 RI会長 レイ・クリンギンスミス(Ray Klinginsmith)

今日のプログラム

「画家として向き合う後志の風景・ふるさについて」
画家 横山 文代 様

お誕生日おめでとうございます(5月)

笠間 茂君(1日)、富樫 栄君(3日)
佐藤 慶一君(8日)、下中 博文君(12日)
稲垣 哲也君(17日)、渋谷 繁男君(17日)
田中 良和君(18日)、坂田 道昭君(26日)
佐藤 勝次君(31日)

第39例会記録 2011年4月26日

■ロータリーソング 「それこそロータリー」

■ゲストスピーカー

日本舞踊藤間流師範 藤間扇久華 様

■会長報告(鈴谷会長)

4月19日の夜は、本年度2回目の夫人親睦会でした。会員のふじ寿司さんで行いましたが、カウンターで握り放題、東北の清酒飲み放題で、とても美味しい体験でした。特に親睦委員会の会員の奥様は是非お誘いください。

遅ればせながらのご案内です。4月は雑誌週間です。「ロータリーの友」のことです。その中の記事からの抜粋です。効果的なロータリークラブの定義(Definition of an Effective Rotary)とは、「手続要覧2010」第一章「ロータリークラブ」の「管理」に記載される「効果的なロータリークラブの定義」とは以下の通りです。

- 1) 会員基盤を維持、拡大する
- 2) 地元地域ならびに他の国々の地域社会において奉仕プロジェクトを実施し、成果をもたらす
- 3) 資金面およびプログラムへの参加を通じてロータリー財団を支援する
- 4) クラブレベルを超えてロータリーにおいて奉仕できる指導者を育成する

小樽RCは手続要覧という効果的なロータリークラブに該当していますでしょうか。

■幹事報告(半田幹事)

- ・英語版「ロータリアン」を回覧します。
- ・5月3日は法定休会です。
- ・5月24日は植樹により移動例会です。詳細はハガキにてご案内します。
- ・5月31日はクラブ休会です。ハガキにてご案内します。
- ・他クラブから例会変更の案内です。
銭函RC: 5月5日 法定休会
余市RC: 5月11日 例会会場変更
ホテル水明閣 点鐘6:30
5月18日も会場変更
お花見例会で会場はエーランド 点鐘6:30
5月25日休会です。
- ・中央バスより「小樽観光ボンネットバスでタイムスリップ」小樽の明治・大正・昭和を訪ねての試乗会ご案内です。参加希望者は幹事まで。

■ゴルフ部会(平松会員)

5月7日第一回顔合わせ会を含めて、小樽CC新コースで13:04スタートです。通知は月曜日に出しています。今週中にご返信ください。またゴルフ部会入会は随時受けております。

■次年度(田中次期幹事)

5月6日18:30より遊人庵2階で次年度理事会を開催します。

■次年度(坂田次期財団委員長)

次年度も今年度に続いてロータリー財団の補助金に申請したいと考えています。いいアイデアがございましたら私までお寄せください。

●真心箱報告

- ・氏家会員… 今週28日18時半から市民会館においてほくでんファミリーコンサートを開催します。札幌の演奏で曲目はグリーグの「ペールギュント」とブラームスの「交響曲第4番ホ長調」です。ご希望の方は氏家まで。入会整理券をお渡しします。連休前の家庭サービスとしていかがでしょうか。
- ・西條会員… 中松新市長誕生にご支援いただいた皆様に感謝いたします。なんとか選対本部長の面目を保つことができました。ありがとうございました。
- ・笠間会員… 先週のふじ寿司さんでの夫人親睦会で豪華な食事で楽しい一時を過ごしました。またさらに、お土産抽選会で一等賞の積丹海鮮セットをいただきました。
- ・山田会員… 3度目のチャレンジ冷や冷やでしたが成功しました。皆様に感謝申し上げます。次回はもっと頑張ります。応援よろしくお願いします。

夫人親睦会



4月19日(火)ふじ鮎様において本年度第2回目の夫人親睦会が26名の参加で開催されました。

美味しいお料理とお酒、そして大抽選会とご夫人方の満面の笑みが零れ落ちておりました。

本日のプログラム

「和を学ぶ～小樽の伝統文化を息づかせたい」

日本舞踊 藤間流師範 藤間扇久華 様

■講師紹介(小沢会員)

藤間扇久華さんは藤間流扇玉会会主藤間扇玉さんのご長女で、道内外で日本舞踊を多数公演なさっています。また市内では小樽伝統文化こども教室や潮まつりのご指導などで活躍され、平成22年度小樽市文化賞奨励賞を受賞されています。

■講演

●はじめに

皆様のお手元に青いチラシが置かれております。「小樽伝統文化の会 和を遊ぶ」こちらの紹介を通してお話しをさせていただきます。

「和を遊ぶ」という催しは、小樽伝統文化の会と小樽市民会館との共催です。毎年春一日、小樽市民会館を貸し切り、和の世界で遊びいただくという行事です。

●主旨

チラシに記しているメッセージを読ませていただきます。かつて、芸どころと云われた街、小樽その小樽に、今も息づいている伝統文化があります。三曲、詩吟、長唄、いけばな、日本舞踊…そして職人の技と味春うららかないちにち



小樽にいきる伝統文化を、和を、「遊ぶ」ひとときにぜひお出かけくださいませ

かつて、芸どころと云われた小樽の街には、
今も日本の伝統文化が息づいています。

芸、技、味——。
日本の伝統文化の奥深さ、「和」の心地よさ、
小樽の心意気がそこにあります。
その世界にふれ、楽しみ、味わい、
「お遊び」頂くひとときをつくりました。

●コーナー

- 1) 和を味わう 政寿司・日本橋・新倉屋
和という皆様にとって一番身近なのが「味」です。そこで小樽の企業様に店出して頂き、和のお弁当の販売をいたします。
- 2) 職人の技を知る 辻忠織物加工店
着物のお手入れと再生の相談を受け付けます。着物の扱いや選択、いつか着たいとお思いの方、さらには寸法の調整やリフォーム、汚れや穴など様々なご相談にのっていただけます。
- 3) 風情と趣きを体感する 茶道表千家小樽地区筒井社中
野点風の茶席を体験していただきます。正座をしなくてもお気軽に茶席を体験できます。和菓子と抹茶が提供されます。
- 4) うたを詠む
原始林小樽支社・小樽川柳社・新墾小樽支社・葦牙小樽支部
小樽にいくつもある結社の中からご参加いただいています。短冊に作品を書いていただき展示していただきますが、お花のコーナーにおいてのコラボも考えております。この機会にゆったり流れる日本の時間を味わっていただければと存じます。
- 5) 装いに興ずる 乙女のきもの・松屋・田中繊維本店
着物と帯、小物の販売、草履・下駄の販売、和装肌着、足袋の販売です。現在では日本人も洋服を着て椅子に座って洋食を食べて洋楽を聴くのが当たり前の生活ですが、少なくとも小樽の潮まつりにご参加されておられる方であれば、足袋や浴衣着用のご経験もごさいますでしょう。是非和の纏いを生活の中に入れていただければと思います。
- 6) お休み処
休憩室でお弁当や和菓子を召し上がっていただけるペースです。
- 7) 空間に遊ぶ花々を愛でる 華道家元池坊小樽支部
花展「一輪の花に心をこめて…春爽やかに」。大きなスペースで花展を開催します。洋花も流通する時代になっていますが、和花を中心に生けていただきます。

こういう各種のコーナーで開館の11時から2時間を楽しむことができるようになっていきます。

●舞台鑑賞「舞台を楽しむ」

- 1) 箏曲 千鳥の曲 小樽三曲協会
三曲というのは琴、三味線、尺八をいいます。千鳥の曲とは吉沢検校作曲で明治のはじめにできた新古典といわれ、箏曲の中では代表曲です。琴40名、尺八10名、総勢50名の舞台です。
- 2) 大合吟 弘道館にて梅花を賞す
日本詩吟学院岳風会小樽支部
113名の詩吟です。徳川斉昭の詠ったものに曲をつけて吟じます。「弘道館の庭には沢山の梅の花が今は盛りと香りを放っています。風雪や寒さに耐え忍び春一番に咲くこの花を、作者はこよなく愛し、文武両道に秀でた人物育成にはこの梅の花のようでありたいと思うのであります」という解説がつけられています。
大変迫力がごさいますので是非お聴きいただければと存じます。
- 3) 舞踊 伊勢参宮 藤間流扇玉会
伊勢参宮と書いて「いせまいり」と読みます。かつて、伊勢神宮に参拝することが流行していた時期があったようで、大阪から入って伊勢参りをする人々の様を描いた作品です。25名ほどの群舞になります。
- 4) 独吟 漢詩二題 日本詩吟学院岳風会小樽支部
王之涣の曲「涼州詩」孟浩然的詩で「春暁」の2曲を1名ずつで詠います。
- 5) 共演 生け花と詩吟
華道家元池坊小樽支部・日本詩吟学院岳風会小樽支部
実はこの他に小樽三曲協会のお琴の伴奏で吟じられます。その音の中で生け花を共演、コラボです。
日本の伝統文化の世界では基本的に他の分野と組むというならわしがありません。そういう意味では画期的な催しです。

- 6) 舞踊 関の小萬・八千代獅子 藤間流扇玉会
子供の舞踊です。関の小萬は子供の手ほどきに使われる曲で、八千代獅子はおめでたい時に踊られます。
- 7) 構成吟 ニセコ積丹小樽海岸線国定公園に寄せて
日本詩吟学院岳風会小樽支部
総勢10名、小樽・岩内・羊蹄・余市・共和・寿都・後志の豊かな郷土色を詩吟とスライドの映像で表現します。皆様の馴染みの深い風景に思いを馳せてご覧いただきたいと思えます。
- 8) 長唄 供奴 彌生会
供奴という演目は歌舞伎舞踊にもよく登場し、代表的で最も人気がございます。その三味線と唄による長唄です。
- 9) 和を学ぶ～場面に遭わせて着る着物～和装の手ほどき
尚美流全日本和装協会北海道本部
着物を持っている女性の一番の悩みは、どういう場面にどういう着物をとすることがわからないことです。正装である着物でも例えば結婚式に浴衣は？黒い着物なら葬式でも？前回の食事の際に着た着物を表彰式でも？など大勢おられます。こういう疑問に答えていただけるコーナーです。
- 10) 企画作品 組曲「海」
大海原～出船入船～遊覧船～潮～北防波堤～海との祈り
短歌・川柳・俳句と三曲・長唄・日本舞踊の共演
三曲……小樽三曲協会
詩吟……日本詩吟学院岳風会小樽支部
長唄……彌生会
日本舞踊……藤間流扇玉会
これは毎年独自の企画で、出演団体が総出でコラボレーションをする演目です。

●大震災と作品

この作品の台本は昨年の秋頃にはできていましたが、大震災が発生して津波の事故が起きました。先生方と何度も話し合い、でも小樽は海とは切り離せないし、海を活力にして生きていると確信し、市民の皆様方を元気づける作品に書き換えました。被災された方々を支えるにしても、私たちが元気でなければそれとできない、その活力を出せるような作品にしたいのです。

●考え方

さてこのように、一日を通して、皆様に和を遊んでいただきながら、心の豊かさや活力を、ひとつ増やせたらと思っています。

この「和を遊ぶ」という催しのきっかけは、文化庁事業「伝統文化子供教室」を5名の師匠の間で行うことになり、何度か行って、今度は合同でと発展し、そして子供だけではなく、大人版もということで誕生しました。

ただ伝統文化といっても、普段の人々の暮らしから全くかけ離れているわけではなく、文化は生活から発生し生活に溶け込んでいるものだと思います。街の動きや人の動き心の動きに結びつけなければ意味がないという考え方になってまいりました。

この作業から小樽の奥深さや伝統文化の楽しさや素晴らしさを伝えていきたい、和の心を伝えていきたいと思っていますが、多くの方から「和の心とは」とよく聞かれます。答えはないと思っています。なぜならこの日本に生まれた人々がその文化にふれたとき、心の奥底で懐かしさや安心や心地よさを感じ、つまりこの感じが、一人一人の和の心だからではないかと思うからです。



出欠調べ

(4月26日分)

1. 本日の欠席者 (9名)
稲垣 哲也、上参郷光祐、小松田哲弘、坂口榮之助、
鳥村 公宏、杉江俊太郎、花和 嘉貴、浜田 健嗣、
村住 俊幸
2. 本日の出席者 (会員69名中 出席56名)
(出席規定除外者7名中 5名出席)
3. 前々回 (4月12日) の確定出席率 (会員数69名)
(義務出席会員65名中 出席61名 93.85%)
4. 前々回のメーキャップ
松倉 弘、村住 俊幸 (以上樽南)、
足立 竹秀 (地区会議)、武井 豊 (地区行事)

■次週のプログラム

「地域社会における北海道薬科大学の役割」
北海道薬科大学 学長 大和田栄治 様
■本日の記事担当 (石井 伸和)